



まらまら

第51号

今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

イクボス講座

めざせ理想の上司

～やる気・元気・本気・人気～



11月30日、ハイトピア伊賀にてイクボス講座を開催しました。

万協製薬株式会社代表取締役社長の松浦信男さんを講師に迎え、「めざせ理想の上司～やる気・元気・本気・人気～」をテーマに、売上げを50倍に伸ばした経営哲学や、人を「人財」と考える人材マネジメントで繰り広げる、ユニークな独自の制度などを、軽快にお話いただきました。参加者からは、“社員を幸せにする人がイクボスであり、良いリーダーは社員を成長させるということを実感した”“組織は逆ピラミッド型であるべきで、社員の下に社長がいるという考え方にびっくりし、社員を大切にすることが伝わった”等の感想をいただき、「三重の元祖イクボス」である松浦社長の講座は、参加者からやる気と元気と本気を引き出す、とても有意義な時間となりました。

皆さんも、社員の人気者になるような「イクボス」をめざし一緒に取り組みませんか。



編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel.(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666
(平成31年2月15日発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子
宮田 美智子・三山 佳代子

おとこの料理教室

11月17日(土)、料理初心者の男性を対象に料理教室を開催しました。今回は「家庭で手づくり小さなクリスマス」ということで、簡単クリスマス料理に挑戦していただきました。



松永 啓子さん



Menu

- ・ケーキのような かざりごはん
- ・ローストポークと 野菜のつけ合わせ
- ・大根とれんこんの炒めサラダ
- ・フレンチトースト ケーキ仕立て

今年は“おやしサンタ”がおもてなし♪ きっと素敵なクリスマスを過ごされたことでしょう。今回の体験をきっかけに、家でキッチンに立つ機会を増やして、積極的に家事に参画してほしいと思います。



男女一緒に気づいて広がる発見講座

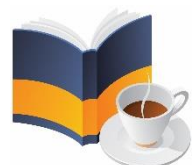


1月25日、“男女が一緒に学べる講座”の第3弾としまして、「海外からジェンダーを考える」と題し、男女一緒に気づいて広がる発見講座～韓国編～を開催しました。



講師に立命館大学非常勤講師の梁京姫（ヤンキョンヒ）さんをお迎え、変化しつつある韓国の暮らしや慣習の中で現れている、ジェンダーミスマッチの事例を紹介しながら、ジェンダー問題についてお話いただきました。今まで、“何も気にしていなかったこと”が、実は女性に対する不平等だと気付かされた1冊の本の紹介、また、韓国での「#MeToo運動」に対する認知度や支持率の高さなど、その背景や影響のあった事件について語られました。

参加者からは“世界的に見た歴史的なバックグラウンドがよくわかった”“韓国でも日本でもよく似た問題があるのだと感じた”“韓国の女性の積極的な取り組みを知り、日本もっと考えていかなければならない”等の感想をいただきました。



「みんなを活かす
男性リーダー養成連続講座」

こんな男がいても
いいじゃないか塾



魚のさばき方、節分に向けた巻き寿司など、プロから学ぶ料理教室が2回、講義が2回、ワークショップが1回の全5回の連続講座です。

もうすぐ、第2期生が修了を迎えます。



調理実習では、講師の言葉に熱心に耳を傾け、魚と格闘しながら、出来上がった料理をおいしそうに食べる姿が印象的でした。

第2期生のみなさん、これから第1期生の皆さんとともに「みんなを活かし隊」として、活躍していただけることを期待しています。

8月頃の市広報でお知らせしますが、10月開講予定で、第3期生を募集します。



TOPICS

part 29

おむつ交換台

年明け、“ニューヨーク、男性トイレにおむつ交換台の設置を義務化。育児負担の軽減に挑む”という記事を見つけました。“2019年元旦、アメリカ合衆国ニューヨーク州は今後建設される建物・施設すべての男性トイレに、最低1台のおむつ交換台設置を義務付ける法律を施行した。新しく建設される建物・施設とは、商用ビルから公的施設、公園などを指す。”と記載されていました。

法律を作ったことに驚くと同時に、日本では、新しい施設の男性トイレにおむつ交換台が設置されているところもあるようですが、ほとんどの男性トイレにはおむつ交換台がなかったり、授乳室には「男性立ち入り禁止」の張り紙があったりと、日本の社会はまだまだ男性が育児をするという環境が整っていないのが現状だとい

うことに改めて気づかされました。

確かに、「男性の育児参加」や「イクメン」という言葉も、よく聞くようになりました。しかし今の現状では、男性の育児は補助的役割で「手伝い」の域から抜け出せていません。共働き世帯が増えている昨今、【男は仕事、女は家事・育児・介護】という固定的役割分担の考え方ではなく、自分事としてお互いに協力することが大切です。男性が育児をする「イクメン」がニュースになるのではなく、当たり前になれば、男性トイレにもおむつ交換台があることが当たり前のこととなるでしょう。

子育てがしやすい環境を目指す日本にとって、ニューヨークの姿勢は、見習いたい取り組みのひとつです。

(男女共同参画係)